

令和五年七月三十一日

於：大阪府立平野図書館 エントランス

## 夏休み こども連歌「笠着」

『ヨーヨーつり』の巻 十二韻

表

発句 夏まつりヨーヨーつりだ楽しいな あすな (小3) 夏

脇 金魚すくいもやってみようか のりこ (大人) 夏

三 かわいいねすいすいうまく泳いでいて あつき (小2) 雑

四 今日からいっしょぼくの友達 拓未 (小5) 雑

裏

一 夜が来て月がきれいだひかっている あすな (小3) 秋・月

二 畑に響くこおろぎの声 雪菜 (先生) 秋

三 秋の道もみじ見ながらさんぽする 力蔵 (小3) 秋

四 まっ赤にそまるきみのよこがお 拓未 (小5) 雑

五 ゆきがすき二人あそべばうれしいな そらと (小5) 冬・雪

六 心残してさよならを言ふ よしを (大人) 雑

七 ふるさとの花さきみだれ春はゆく 力蔵 (小3) 春・花

挙句 みな忘るるなあたたかき風 教美 (大人) 春

令和五年七月三十一日

於：大阪市立平野図書館 エントランス

夏休み こども連歌「笠着」

『せんこう花火』の巻 十二韻

表

発句 パチパチとせんこう花火夏おわる

力蔵 (小3) 夏

脇 さびしく鳴くよひぐらしの声

いずみ (大人) 夏

三 一人きり遠い山路を歩きゐて

蓮 (先生) 雑

四 流れ静かな川の音を聴く

雪菜 (先生) 雑

裏

一 十五夜のきれいな月をながめつつ

力蔵 (小3) 秋・月

二 コスモスはさく公園の端

あすな (小3) 秋

三 風なでるほほに少しの冷たさよ

磊門 (大人) 秋

四 となりを歩く君はいなくて

蓮 (先生) 雑

五 雪がふる恋はかなしき銀世界

けんた (大人) 冬・雪

六 積りて消ゆる古き思ひ出

美月 (大人) 雑

七 巢立つ朝花のアーチも今日かぎり

拓未 (小5) 春・花

挙句 うららの光かるき足どり

麻里 (館長) 春

令和五年七月三十一日

於：大阪府立平野図書館 エントランス

# 夏休み こども連歌「笠着」

『かき氷』の巻 十二韻

表

発句 かき氷早く食べたい暑さかな はずみ (大人) 夏

脇 お家の前のプールであそぶ まりえ (小5) 夏

三 きれいだよ山のいただき見晴らして あすな (小3) 雑

四 みんないっしょにかえる夕がた 力蔵 (小3) 雑

裏

一 長い夜月も聞いている大合唱 拓未 (小5) 秋・月

二 空が高くて雲も高いよ あすな (小3) 秋

三 ひこうきがまつすぐのばす白い道 はずみ (大人) 雑

四 冬鷺は鳴き風に消えゆく 千代子 (大人) 冬

五 雪がふる雪はだいすきうれしいな そらと (小5) 冬・雪

六 会へる喜び疾く春よ来い 魁成 (大人) 春

七 入学を待ちわびて今花がさく あすな (小3) 春・花

挙句 連ねの歌やうらなる郷 絹代 (大人) 春